



シャイン・オン!キッズ

このちゃんを救う会の皆様

この度はファシリティドッグ・プログラムの活動へ、多額のご寄付を頂き、誠にありがとうございました。頂きましたご寄付は、全国の小児がんと重い病気とたたかう子どもたちが入院する病院に、ファシリティドッグ・プログラムの導入を目指し、育成部門の強化に活用してまいります。

資金使途：ファシリティドッグ育成拠点運営費用、ファシリティドッグ・トレーナーやマネージャーの人件費、候補犬の購入費、学会等での啓発活動、国際連携のための海外渡航費等

ファシリティドッグ育成部門の強化

2010年に日本初のファシリティドッグが静岡県立こども病院に導入されて15年。2024年7月現在、4つの子ども病院で活動しています。このファシリティドッグの活動も徐々に認知度があがり、ファシリティドッグ導入に関する多くのお問い合わせを多くいただくようになり、「2025-2026年までに5チームのファシリティドッグ育成」を目指しています。



谷口 めぐみ/タイ
静岡県立こども病院



森田 優子/アニー
神奈川県立こども医療センター



大橋 真友子/アイビー
東京都立小児総合医療センター



権守 礼美/マサ
国立成育医療研究センター

そのため段階的にファシリティドッグの国内育成チームの強化を進めています。2022年から育成チームに米国の介助犬育成人材を輩出する [Bergin College of Canine Studies](#) 卒業生3名のトレーナーを順次迎え、米国における最新の育成方法を取り入れたトレーニングを行っています。

- 2023年4月 候補犬、トミーとミコを迎える
- 2023年6月 神奈川県三浦郡に育成拠点を構える
- 2023年1月 候補犬、オリ来日
- 2024年5月 候補犬、マナ来日
- 2024年7月 新たな候補犬来日
- 2024年10月頃 新たな候補犬を迎える予定



候補犬

ファシリティドッグの候補犬、トミー（男の子）、ミコ（女の子）、マナ（女の子）をいつもお世話になっている“働く犬”のブリーディングを専門的に行うキャリア・ドッグス・オーストラリアから、そして7月には新たにもう1頭の候補犬を迎え入れました。オリは米国アシスタンス・ドッグス・オブ・ハワイから迎えました。

育成過程からたくさんの人を癒し、ふれあいながら学ぶ候補犬

候補犬はトレーニングの一環で、ファシリティドッグのニーズがありながらもこれまで手が届かなかった病院隣接の家族滞在施設や福祉施設などで過ごす子どもたちやそのきょうだい、ご家族のもとを訪問しています。

さらに、入院中にファシリティドッグとふれ合った経験のあるお子さんやご家族にトレーニングに参加していただく機会も設け、育成事業をコミュニティで取り組んでいくスタイルを目指しています。

さまざまなコミュニティの皆さまと一緒に、ファシリティドッグを育成することを目指す中で、ファシリティドッグをより身近に感じていただき、より多くの方に知っていただくような啓発の機会にもつなげていきたいと思えます。



（左）池上 茉実 （右）平沢 佳奈



シャイン・オン!キッズ

現役ファシリテイドッグチームのサポート

このちゃんの療養中、ともに過ごしたマサをはじめとしたハンドラーとファシリテイドッグのチームは、ファシリテイドッグ・トレーナーに日頃から気軽に疑問を相談できる、また年に1回のフォローアップを実施する体制で活動しています。このサポート体制により、病院での活動開始後も、安全にかつより良い子どもたちへの支援が継続できるよう努めています。

そして、ファシリテイドッグが元気にお友だちに会いにいけるよう、動物福祉にも配慮して活動を継続しています。



認定 NPO 法人シャイン・オン・キッズ

スタッフ一同